

受賞履歴

さとやま未来大賞 2017 in ひろしま『未来のたね賞』（広島県）

中山間地域にあるものを活かして、新しい価値の創造につなげている好事例を「さとやま未来大賞」として顕彰し、その活躍を応援するとともに、プロセスやノウハウを共有することによって、取組のさらなる普及をめざす。

芸北茅プロジェクト実行委員会

北広島町立芸北中学校（価値化部門、事務局）

芸北中学校 PTA（事業化部門）

NPO 法人 西中国山地自然史研究会（事業化部門、事務局）

北広島町教育委員会（事業化部門）

北広島町立 高原の自然館（価値化部門）

本事業は「地球環境基金」の助成金を活用して実施しています。



お問い合わせ先

藝州茅をみたい

西中国山地自然史研究会：080-6334-8601

茅金市場に茅を出したい

北広島町立芸北中学校：0826-35-0151

視察をしたい、その他全般

西中国山地自然史研究会：080-6334-8601

もっと情報を知りたい

ホームページ：http://npo.shizenkan.info/?page_id=9987



2025年7月印刷

編集・発行 芸北茅プロジェクト実行委員会

事務局 NPO 法人西中国山地自然史研究会

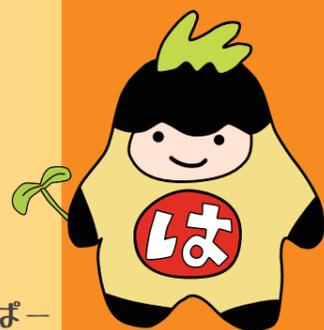
〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 10119-1

☎ 080-6334-8601

✉ staff@shizenkan.info

🌐 <http://npo.shizenkan.info/>

はらっぱー



芸北茅プロジェクト

— 芸北の茅を使ってふる里を守ろう！ —

芸北茅プロジェクト実行委員会

芸北茅プロジェクト（カヤプロ）とは

芸北の原風景

かつて芸北の民家は、茅（ススキ）で屋根が葺かれていたそうです。一軒の屋根を葺くのに大量の茅が使われたため、各集落には必ず「茅畑（かやばた）」と呼ばれるススキ原がありました。時代が移り、トタンや瓦が普及すると、茅は使われなくなり、茅葺きの建物が並ぶ風景は姿を変えていきました。そして今、茅葺きの技術を持った人はほとんど居なくなり、茅葺き屋根を葺ける人や技術が芸北から消えつつあります。

事業の背景：茅葺き屋根の減少

茅葺き屋根の減少は、野生の生きものにも変化をもたらしました。ススキが使われなくなったことでススキ原は森になりました。すると、キキョウ、カワラナデシコ、オミナエシなどの草原の生きものたちが姿を消し、森はツキノワグマやイノシシなど獣の潜み場になりました。茅葺きの建物は昔ながらの風景を作っていただけでなく、ススキ原の景観や生きものを守り、獣が里に出てくるのを防いでいたのです。

芸北茅プロジェクトの目的

私たちが進める芸北茅プロジェクトは、芸北に生えている茅を活用することで、伝統的な建築物や技術を伝えるとともに、ススキ原の生物を守り、地域通貨の流通を通じて地域を活性化させる取り組みです。芸北中学校とPTAが中心となって取り組むことで、子どもたちが地域の資源や自然、経済について学ぶ機会を作っています。

取り組みに参加してください

カヤプロの推進には、茅を出荷して下さる「刈り人さん」の協力が欠かせません。ぜひ、地域の茅を刈り取って茅金市場に出荷してください。



茅金市場での受入れの様子



千町原に並ぶ茅ぼうとう



茅刈りの様子（千町原）

「藝州茅」の規格

カヤプロでは、長さ 180cm 以上の真っ直ぐなススキを、直径 20cm～25cm に束ねたものを「藝州茅」として市場に受け入れています。出荷の際はご確認ください。

check!
刈取りのポイント

check!
束ね方のポイント

check!
長さは 180cm 以上
check!

check!
上側が広がっている場合はもう1箇所結ぶ

check!
刈取りや束ねは晴れた昼間に！
check!

check!
まっすぐな茅を選ぶ

check!
弛まないようにしっかり絞める
check!

check!
刈取りの時期は、茶色く枯れてから

check!
他の草は適度に取り除く
check!

check!
結び目は同じ側、2箇所ではばる

check!
素麺のように平行に束ねる
check!

check!
直径は 20cm

check!
根本から 30～40cm の高さで結ぶ
check!

check!
できるだけ根元に近いところを刈る

check!
トントンとして切り口を揃える
check!

地域通貨「せどやま券」



名称：せどやま券（せどやまけん）
単位：石（こく）
有効期限：6ヶ月（券に「使用期限」を押印してから渡します。）

利用のルール

- 1 地域の加盟店で「せどやま券」1枚で、1000円以下の商品と交換できます。
- 2 利用する際には、裏面に利用者の名前と利用店舗を記入します。
- 3 1000円単位で切り上げになります。差額は環境保全活動への寄付となります。
- 4 日本国通貨と混合での利用ができます。
- 5 店主が地域通貨を利用したり、釣り銭に使うなど、二次利用ができます。
- 6 二次利用も含め、最大5回まで流通できます。



草原の恵みがせどやま券に



農機具・食品・物品などを購入できます

メッセージ

芸北地域のみなさまへ

① 地域の資源を使い、地域で買い物をしてください。

灯油・電気・ガス・ガソリンの使用は、地域からの経済流出であり、地球温暖化を進めます。地域の資源を使い、地域で買い物することが「豊かで美しいふるさと」を子ども達に残します。

② せどやまや農地など、土地を大事にしてください。

エネルギーも食料も、先祖が残してくれた土地が提供してくれます。これからの社会では、芸北が持つ「本当の豊かさ」がますます大事になっています。

③ せどやまや草原とのつながりを見つけてください。

近所の散策、茅刈り、山焼きへの参加、しいたけ栽培、ピザ窯、薪ストーブなど、少しずつでも草原やせどやまと「関わる」ことから始めてみてください。

④ 一緒に始めませんか？

「茅金市場」に茅を出荷してください。手鎌と軽トラがあれば、誰でも始められます。近所で誘い合わせて、みなさんで作業されることをお勧めします。

企業のみなさまへ

茅の購入や、様々な形での寄付、カヤプロの広報などで、事業を応援してください。カヤプロは、広島市へと注ぐ太田川源流域の自然を保護する活動ですが、それだけに留まらず、私たちにとっては地域が生き残っていくための活動です。環境保全、地域づくり、農村交流などに関心があり、芸北を愛して下さる企業様の協賛をお待ちしています。

行政や他地域のみなさまへ

カヤプロを、あなたの地域でも始めてみませんか？私たちは、これまでの経験や資料などを提供できます。また、茅金市場や茅場の視察も受け入れています。茅を保管するための場所と、数名の「意欲を持った人」が揃えば、最初の投資は大きくありません。

また、茅を使う意味で、茅葺き屋根の葺き替えを推進することで、地域の資源を活かし、秋にススキが穂を揺らす「美しい草原景観」が各地に広がることを、私たちは願っています。